

南海トラフ地震に対する

中野区の防災対策を問う

立憲・国民・ネット・無所属議員団

ひやま 隆



①去る8月8日、日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、政府は同日、南海トラフ地震臨時情報を発表した。今回の臨時情報の発表に際して、中野区が実施した具体的な取り組みは、②今回のケースでも、インターネットを中心に震災情報に係る根拠のない誤情報や真意不明な情報が散見された。また、そうした社会不安を背景に中野区でも一部地域で、米や水といった食料品の買い占めによる品薄状態が続いた。南海トラフ地震に係る情報を分かり易く伝えるための工夫、

区が主導して

産学官連携を創出せよ

自由民主党議員団

高橋 かずちか



①学校関係機関との産学官連携では、組織体制を構築し、区が主導して連携内容を創り、区民の利益や、区政の進展に結びつく戦略的な取り組みが必要では。②私立専修学校等と人的交流を行い、具体的な連携を進めるべきではないか。

区長 ①区民サービスの向上や、活性化に繋がる取り組みを推進し、連携の充実を図りたい。②更に連携先を増やせるか検討したい。

新庁舎における課題を問う

①ユニバーサルデザインの観点から、事故発生という最悪の事態は回避すべきだ。階

うした避難者の受け入れについて中野区の現状は。

区長 ①情報連絡態勢により関係情報を収集し、区民に対して家具転倒防止や飲料水等の備蓄についてHPや防災メール等で呼びかけた。②今回の情報発信を検証し、区

民への周知についてより分かりやすい内容に改善を図っていく。③中野区の想定震度は区の大部分で震度5弱、一部で5強となっており、多くの帰宅困難者が発生する見込みとなっている。④東京都との協定によって、対応していく。

より効果的な

DX推進に努めよ

公明党議員団

日野 たかし



①公共工事における情報共有システムの活用を図ること、区と事業者の両者が業務の負担軽減と効率化を実現することができる。区のDXを推進していくに当たり、今後はペーパーレスのみならず、このようなシステムの導入を全庁的に検討していくべきではないか。②ベンダーロックインに陥らないためにも、データの動作確認などの統合型GISにかかわる部分は、分離発注とするなどの対策を講じるべきではないか。

区長 ①全庁的に活用する方策を今後検討していきたい。②業務の効率性やコスト等のバランスを考慮したうえで、状況に応じて分離発注についても検討していきたい。

災害への備えを充実せよ

①学校現場における合理的配慮の提供について、提供事例集の進捗状況や公開時期の目途はいつか。②作成された事例集は、現場の事例を積み重ねて適切に更新していくべきではないか。③教員や教育委員会関係者に対する研

究等、これらの事例集を活用していくべきではないか。**教育長** ①現在、事例集をまとめているところであり、今年度内にHP上で広く周知していく予定である。②現場で取り組んでいる最新の事例をとりまとめ、更新していく。③研修会等の際に、テキストとして活用していく。

区民にとって居心地の良い

居場所づくりに努めよ

日本共産党議員団

羽鳥 だいすけ



①子どもの居場所づくりのため、学習支援団体の事業の周知啓発や補助金支給を検討しては。②中野四季の都市で駐輪禁止のアナウンスを流すカラーコーンは、撤去すべきでは。③民間活力も含め、中野四季の森公園の北側歩道に駐輪スペースやラック式駐輪場を設置しては。④セントラルパークイーストの公開空地にある樹木の周りへのベンチ設置に向けた協議を行っては。

区長 ①各団体の要望等、自転車の駐輪場の屋外東区画の閉鎖により放置自転車が目撃される。対策を検討しては。②撤去を進めていく。③道路上への自転車駐輪場の設置は例外的なものである。自転車駐輪場の台数は可能な限り確保してきており、現在のごころ設置の予定はない。④管理者である東京建物株式会社と意見交換をしていく。

区民に寄り添った防災施策を

①区の木造住宅耐震改修助成制度の要件を見直し、新耐震基準の木造住宅も含めては。②中野西

区長 ①民間の力を取り入れることなども視野に入れ、検討していく。②課題を整理し、他自治体の取り組みを参考にしながら、学校プールの集約化について研究したい。③令和7年度に、2館の児童館の委託化と同時に、週7日の開館等を検討しており、多様な居場所づくりを記録する夏休み中の居場所づくりは重要な課題で、早急に整備してほしいが、どうか。

子どもたちの

多様な居場所を整えよ

立憲・国民・ネット・無所属議員団

山本 たかし



①区の支援に繋がっていない81人の子どものためにも、フリーステップルームを民間に委託するなど充実させ、選択肢を増やしていくべきでは。②学校プールの在り方について、見直す時期が来ている。区の見解は。③学童クラブを利用していない子どもの居場所が十分ではない。猛暑を記録する夏休み中の居場所づくりは重要な課題で、早急に整備してほしいが、どうか。

区長 ①令和7年度に、2館の児童館の委託化と同時に、週7日の開館等を検討しており、多様な居場所づくりを記録する夏休み中の居場所づくりは重要な課題で、早急に整備してほしいが、どうか。

②防災ベッド設置補助金の要件を見直しはどうか。**区長** ①助成対象とする予定である。②他区の申請要件を調査し、要件緩和について検討している。

鷺宮地域の交通課題を見直せ

①鷺の杜小学校通学のための立体横断施設について、現在の検討状況は。②若宮・大和町地域のバス実証運行では、乗り残しが発生している。増便を関東バスと協議しては。**教育長** ①庁内の関係部署と連携を図りつつ、基本条件の整理や具体的な設置場所、施工方法を検討している。

区長

②バスの乗務員不足が問題であり、増便の協議は困難と考えるが、アンケート

らないと、都は構造形式の検討に入れない。野方1号踏切の除却について、早期に都と具体的な検討を進め、結論を出してほしいが、進捗は。②沼袋4号踏切の除却について、何も示されておらず、地域住

民は不安を感じている。説明機会を設けるべきではないか。**区長** ①都と調整を行っており、踏切の除却を含めた早期事業化を目指していく。②東京都、中野区及び西武鉄道が相互に連携協力して行う。

トや運行実績の結果を分析し、適切なダイヤを検討する。

区議会各会派のEメールアドレス

- 立憲・国民・ネット・無所属議員団 rikkenakano@gmail.com
- 自由民主党議員団 office@njp.gr.jp
- 公明党議員団 netnakano@gmail.com
- 日本共産党議員団 mail@jcpnakanoku.net
- 都民ファーストの会 中野区議団 tomin1st.nakano@gmail.com

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の決起大会

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟 決起大会



8月26日に、野方区民ホールで、西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会が行われました。酒井たくや議長が出席し、区議会代表として挨拶を行いました。